

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

結腸直腸癌における手術部位感染と予後との関係および腹腔鏡下手術の優位性についての検討

1. 研究の対象

2015年1月1日から2017年12月31日までの間に、当院の消化器外科で結腸直腸癌切除手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的：下記の診療情報等を利用し、至適な術式・予後改善について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において結腸直腸癌切除手術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに手術部位感染の有無および術式と予後について関係を分析し、手術部位感染の有無や術式は予後に影響があるかを調べます。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し、使用させていただきますが、氏名、生年月日等のあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：該当なし
- ・診療情報等：年齢、性別、診断名、治療内容、検査結果、画像診断結果、術式、周術期情報、術後合併症、全生存期間、無再発生存期間

4. 情報の提供先・提供方法

情報の提供なし

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院 (電話：代表 042-639-1111 内線：5000)

研究責任者 消化器外科 向井 正哉

問い合わせ担当者 消化器外科 向井 正哉

-----以上